



赤十字やまぐち

2014
Spring
春号

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

発行／日本赤十字社山口県支部 〒753-0094 山口県山口市野田 172-5 TEL.083-922-0102 <http://www.yamaguchi.jrc.or.jp/>

みんなで作ろう!
赤十字マーク

山口県赤十字救急法競技大会

~「いのちを救いたい」の思いを集めて~



平成 26 年 2 月 22 日 第 1 回 山口県赤十字救急法競技大会

県民の皆様へ

東日本大震災から三度目の春がやってきました。今もなお不自由な生活を余儀なくされている被災者が数多くおられることを想い、一日も早く元の生活を取り戻されるよう願わざるを得ません。日本赤十字社では、発災以来、被災者の方々に、募金による3500億円を超える義援金をお届けしたほか、仮設住宅の暮らしを支える家電の整備、保育所や高齢者住宅の建設、医療や福祉の充実などの復興支援事業を続けてきました。これらの事業の財源となっているのは、海外の開発途上国を含む100の国や地域にある赤十字などから、日本赤十字社に寄せられた海外救援金1000億円です。改めて、世界に広がる赤十字組織の“人道のネットワーク”を有難く心強く感じます。

さて、近年、気象変動による災害の大規模化や頻発化の傾向があり、大規模地震の発生も危惧される中、日本赤十字社では、「災害からいのちを守る」組織としての存在価値を一層高めるため、災害全般に対する対応能力の強化や赤十字ボランティアの活性化、防災・減災のための各種講習の普及などに取り組むこととしています。山口県支部においても、こうした動きに呼応して、新年度は、大規模災害を想定した中四国9県支部合同の災害救護訓練を実施しますほか、非常食のための移動式炊飯器の整備や炊き出し訓練、救援資材・物資の整備、企業・団体の方々とも連携した救急法や防災・減災等講習の実施、地域で活動する各奉仕団の活動支援などに取り組みます。

“人間のいのちと健康、尊厳を守る”赤十字の事業・活動の原動力は、社員・県民の皆様のご理解と日赤社資によるご支援・ご協力です。今年も5月の「赤十字運動月間」を中心に温かいご支援の輪が大きく広がりますようお願い申し上げます。



日本赤十字社
山口県支部長

二井 関成

今年も「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ため災害救護活動、救急法等講習普及事業、赤十字ボランティアの育成などの活動を展開します。

5月は赤十字運動月間です。

5月は赤十字の創始者であるアンリー・デュナンの誕生月(5月8日)であり、また日本赤十字社が設立された月(5月1日)であることから、毎年5月を赤十字運動月間としています。

皆様の、赤十字への疑問にお答えします。



Q 赤十字社員って何ですか？



A 日本赤十字社の「社員」とは、赤十字の行う活動に賛同し、1年に500円以上の社費を提供していただく方々のことを言います。社員には、個人・企業・団体を問わず、誰でも加入いただけます。社員制度は、赤十字組織の基本であり、赤十字の事業・活動の原動力です。日赤では、一人でも多くの方に社員になっていただけるよう、お願いしています。



Q 社資・社費・寄付金って何ですか？



A 日本赤十字社は、日本赤十字社法により、個人・法人の方からお寄せいただいた活動資金をもとに運営しています。その活動資金は社費や寄付金から成りますが、社費と寄付金を合わせたものを社資と呼んでいます。

「社費」とは、社員からの年額500円以上の資金のことを言います。

「寄付金」は社費と違い、いくらからでもご協力いただけます。



Q 社費・寄付金は強制的なものですか？



A 皆さまの自由意思によるものですが、赤十字の活動にご理解いただき、1人でも多く、1社でも多くのご協力ををお願いいたします。



Q 社費・寄付金を納めたいときにはどうしたらいいですか？



A 町内会・自治会等の方々や赤十字ボランティアを通じた納入のほか以下の方法でご協力いただけます。

①郵便局からの振込での納入／お近くの郵便局からお振込みいただけます。

(口座番号)01590-3-4076 (加入者名)日本赤十字社山口県支部

※上記口座番号は社資専用口座です。お間違えのないようよろしくお願ひいたします。

②口座振替による納入

預金口座振替(自動引き落とし)により毎年継続して社費を納入していただけます。

③インターネットでの納入／インターネットで簡単に赤十字社員に加入できます。(<http://www.jrc.or.jp/>)

④お近くの赤十字窓口での納入

⑤慶弔金のお返し

⑥遺贈による寄付

※②、③は一回2000円以上からご協力いただけます。

※②、③の詳細につきましては、日本赤十字社本社ホームページ(<http://www.jrc.or.jp/>)をご覧ください。

※日赤に寄せられました一定額以上の社費・寄付金には税制上の優遇措置があります。



Q 活動資金以外で日赤に協力できることはありますか？



A はい。例えば、次のような方法があります。

①店舗に募金箱を設置する。

②寄付金付き自動販売機を設置する。(売上げの一部が寄付金になります。)

③赤十字紹介パネルや被災者にお届けする毛布などの救援物資などを展示する。(赤十字の成り立ちから現在の活動までのパネルがあります。地元のイベントなど、展示していただける場所を募集しています。)

④赤十字講習会へ参加して、人間のいのちと健康を守る活動に参加する。(救急法、幼児安全法、水上安全法、健康生活支援講習、防災講習などの講習会を行っています。)

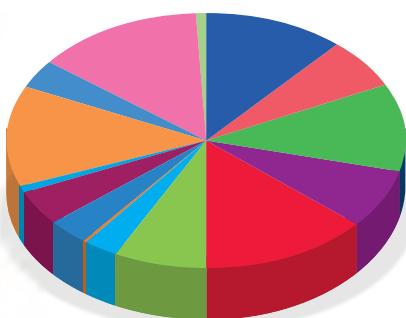




平成26年2月4日山口市において開催された平成25年度第2回評議員会では、平成25年度の事業報告、平成26年度一般会計及び各特別会計の歳入歳出予算について審議され、原案どおり承認されました。

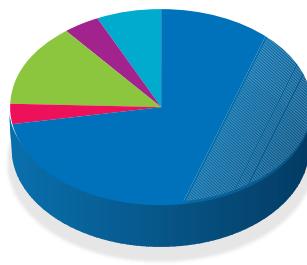
皆様の温かい善意を次のような事業に役立てていきます。 皆様のご理解とご協力を願いいたします。

〈歳出〉 317,000千円



平成26年度歳入歳出予算

〈歳入〉 317,000千円



●平成26年度社資募集目標額…… 229,000千円

●災害救護活動のため 36,110千円



日赤中四国各県支部合同
災害救護訓練等各種の訓練・
研修を実施します。

各市町に移動式炊飯器を追
加配備し、炊き出し活動を応援
します。

●救護看護師養成のため 10,800千円



救護看護師を確保するために看護大
学等で、看護師等の資格取得を目指す
学生に対し奨学金を貸与します。

●急救法等講習普及のため 20,383千円



緊急時の手当、事故
防止に必要な知識・技術の普及に努めます。

AEDの使い方やけがの手当を学ぶ「急救法」、子どもの事故防止と手当を学ぶ「幼児安全法」、高齢者の支援に役立つ「健康生活支援

講習」、水の事故等から身を守るための「水上安全法」などの各種講習会を県内各地で実施します。



赤十字バスも走ります。

●奉仕団活動・青少年赤十字活動のため 23,129千円

赤十字ボランティアや世界の平和と人類の福祉に貢献できる青少年の育成を行っていきます。



赤十字の活動は、地域に根付いた活動をする「地域奉仕団」、若者を中心とした「青年赤十字奉仕団」、特定のスキルを生かした「特殊奉仕団」の計54団約15,000名の赤十字奉仕団員に支えられています。

平成26年度は、災害に備え、各奉仕団を対象とした「非常食炊き出し」訓練を実施するほか、奉仕団活動の充実強化やボランティア活動の活性化を呼びかけます。

▲毛布で体を保温する方法を学ぶ
地域奉仕団員



県下の幼稚園・保育園から高等学校までの19園141校、約22,000名が「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」を実践目標に、「気づき・考え・実行する」の態度目標のもと、生きる力を育む活動に取組みます。

▲H25.9.21山口県立高森高等学校
から山口県大雨災害義援金の寄託
をいただきました。

事業報告

『赤十字紙芝居』コンクールを実施しました！

当支部では、赤十字創設150年を記念して、アンリー・デュナンに始まる赤十字の歴史や人道主義、アンリー・デュナンが拓めたいと思った「思いやりの心」をこどもたちに分かりやすく伝えていくため、また、紙芝居の作成過程で作成者自身が赤十字の歴史に触れ、赤十字への関心・理解を深めていただくことを目的に、平成25年10月1日から①歴史部門②創作物語部門の2部門で「赤十字紙芝居」を募集し、県内の中高校などから、9作品の応募をいただきました。

今後は選考会を経て、紙芝居を作成し、赤十字奉仕団等により、県内の幼稚園・保育園・小学校等で上演していきます。



【応募者のコメント】

- ・アンリー・デュナンの伝記を熟読し、みんなで勉強しました。「赤十字の父」であるアンリー・デュナンの想いが多くの人々に伝わるといいな。（青少年赤十字加盟校 田布施町立田布施中学校美術部様）
- ・相手のことを自分に置き換えて考えてほしい、という思いで描きました。（岩崎祥子様）

第1回！赤十字救急法競技大会開催！

平成26年2月22日、山口県支部では初めての「赤十字救急法競技大会」を開催しました。

本大会は、県民の皆様に日常生活における安全意識を高め、事故や災害時において相互に助け合い、行動できるようになることを目指しています。心肺蘇生の部、応急手当の部の二部門に、中学生から婦人会のチームまで、27チーム、95人が参加。日頃、県内各地で救急法講習を行う安全奉仕団員が審判など行う中、トーナメントで熱戦が繰り広げられました。

心肺蘇生の部では、山口市立鴻南中学校の野球部2年生3チームが大人のチームを抑えて1位～3位を独占。また、応急手当の部では、山口赤十字病院や海上自衛隊岩国チームなどが上位を占め、山口赤十字病院チームが総合優勝である支部長杯に輝きました。

会場には、多くの県民も来場され、終始、会場内に応援の拍手や歓声が響き、「いのちを救いたいの思いを集めた」競技大会は成功裏に終わりました。



総合優勝 Cutie HEMYY の喜びのコメント

まさか、優勝できるとは思っていませんでしたが、みんなで練習てきて良かったです。
来年は、後輩が出場する予定ですが、また優勝できたら嬉しいです！

「赤十字サポーター」を紹介します！

昨年8月から開始しました「赤十字サポーター認定制度」は、当支部が人道の理念のもとに実施する災害救護活動や講習会開催事業等の事業を活動資金や事業活動に関連した支援協力内容によりサポートしていただく企業団体等を赤十字サポーターとして認定する制度です。現在、株式会社西京銀行と株式会社丸久の2社に「赤十字サポーター」として、ご登録いただいている。今後一層支援協力の輪が広がるようお願いします。

株式会社
西京銀行様



▲平成25年11月26日平岡頭取に認定証贈呈

株式会社
丸 久様



▲平成26年2月26日田中社長に認定証贈呈

ご協力ありがとうございました。

■東日本大震災義援金について

山口県支部で受け付けた義援金は、13億9330万3614円。支部受け付け分を含め

日本赤十字社で受け付けた義援金総額は、3301億6429万1757円(いずれも平成26年2月14日現在)です。

義援金の配分は、被災された方々の実情をもつと把握している被災地の自治体が担当となっており、受け付けした義援金は全額順次、被災された自治体にお届けしています。

都道県(15都道県)、市町村、被災者に配分された額は、

都道県 約 3678億円(受付総額に対し、約99%) ※この金額は、日本赤十字社並びに中央共同募金会からの送金の合計です。

市町村 約 3640億円(受付総額に対し、約98%)

被災者 約 3565億円(受付総額に対し、約96%) (平成26年2月14日現在)

■山口県平成25年7月28日大雨災害義援金について

平成25年7月28日の未明に萩市、山口市、阿武町を中心に大きな被害をもたらした豪雨災害の被災者支援のために、義援金の受付を実施し、全額山口県を通じて被災者の皆様にお届けしています。

山口県支部で受け付けた義援金は、7307万467円。支部受け付け分を含め

日本赤十字社・共同募金会・NHKで受け付けた義援金は、1億577万1875円(いずれも平成26年1月末現在)です。

皆様から寄せられたこれらの義援金は、日本赤十字社の活動や手数料等に使われることは一切ありません。

■NHK海外たすけあいについて

平成25年12月1日～25日の期間で募集し、111件 910,474円のご寄付を受け付けました。

皆様からのご寄付は、海外救援金として、紛争、災害や病気で苦しむ世界の人々を支援する活動に活用いたします。なお、山口県支部では、2013年フィリピン台風救援金として、10件 1,220,976円(平成26年1月末現在)受け付けました。

++++ 高額寄付者のご紹介 ++++

日本赤十字社の活動資金にご協力いただいた方をご紹介します

平成25年8月から平成26年1月末までの当支部
受付分から(敬称略)

10万円以上

上田 和子(宇部市)

伊東 秀男(宇部市)

津山満寿枝(山口市)

竜王薬局(山陽小野田市)

ほか8名

100万円以上

西村 正江(下関市)

株式会社西京銀行(周南市)

ほか1名

法人社員の取組みをご紹介

山口県支部では、法人社員の社会貢献の取り組みを顕彰し、法人のイメージアップ等につなげるため、社資にご協力いただいた法人社員に対し、ステッカーなどをお渡ししています。

◎ホテルニュータナカ 様 (山口市湯田温泉 2-6-24)

赤十字レッドクロスが輝いています。



ホテルニュータナカ 林さん

ホテルニュータナカの社会貢献活動を
ホテルご利用のお客様にPRするため、
最初にお客様が立ち寄られるフロントに
貼っています。

ホテルニュータナカは、宿泊はもちろん
ですが、屋上露天風呂やレストランなど「お・も・て・な・し」の心で皆様の
ご利用をお待ちしています!

業務用車両などに
貼付していただく
こともできます。



ステッカーの他にも、ご協力いただいた金額に応じて、プレートの提供や山口県支部のホームページ、広報誌等への掲載などにより顕彰しています。

※日本赤十字社への寄付に対しては、税制上の優遇措置があります。詳細は、

山口県支部ホームページ(<http://www.yamaguchi.jrc.or.jp/>)をご覧ください。



〈プレート〉(A5 サイズ)

山口県内

赤十字施設のご案内

総合病院山口赤十字病院

いつ起きるか分からない災害に備えて。

総合病院山口赤十字病院

当院は、県央部に位置し、県内最大の二次救急医療圏における救急医療を含んだ急性期医療を主体とした基幹病院としての機能を担っています。特に、地域周産期母子医療センターや小児救急医療拠点病院、地域がん診療連携拠点病院など特徴的な機能を備え、各分野において、理念にも掲げている“あたたかな信頼のおける医療”を提供しています。

また、災害拠点病院にも指定されており、地震や台風・津波等の災害が起きた際は、地域医療の拠点として活動することとなっています。

『情報を制する者は災害を制す』といわれるよう、災害時に医療活動を行うには、病院内外の状況を迅速に把握し、膨大な情報の中で適切な判断を行っていくことが大切です。このため当院では、大規模災害対応マニュアルを作成し、これを基に大規模災害対応訓練を行い、情報の整理や発信、医療活動の展開方法等を確認しています。

昨年は、大規模災害対応マニュアルをより見やすく迅速に対応できるよう内容を刷新しました。また、このマニュアルは先般、日本集団災害医学会において展示公開され、全国の災害医療に係わる関係者から高い評価をいただきました。

今後とも訓練を重ね、災害時の即応体制を整えるとともに、行政・消防等とも連携を密にし、地域の方々の“安全・安心”を高めていきたいと考えています。



▲模擬患者を使った大規模災害対応訓練の様子

〒753-8519

山口県山口市八幡馬場 53 番地の 1

TEL. 083-923-0111 FAX. 083-925-1474

<http://www.yamaguchi-redcross.jp/>

(診療科目) 内科、消化器科、循環器内科、神経内科、精神科、小児科、外科、乳線外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、気管食道科、放射線科、リハビリテーション科、歯科・口腔外科、麻酔科、(緩和ケア科)

(病床) 病床数475床

小野田赤十字病院



〒756-0889

山口県山陽小野田市大字小野田 3700 番地
TEL. 0836-88-0221 FAX. 0836-88-2733

<http://www.onoda-redcross-hosp.jp/>

(診療科目)

内科、消化器科、循環器科、呼吸器科、神経科、外科、整形外科、肛門科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科
(病床) 一般病床40床、療養病床92床

(老人保健施設) 入所定員100名

住み慣れた地域で

安心した生活を。

小野田赤十字病院

山口県赤十字血液センター

総合病院山口赤十字病院



小野田赤十字病院

当院は、急性期医療を行う一般病棟、慢性期医療を行う療養病棟、そして老人保健施設や在宅介護支援センターを併設し、保健・医療・福祉のトータル機能で地域の方々のニーズに対応しています。

在宅医療が必要な方へは医師と看護師による「訪問診療」を行い、住み慣れた地域で安心して暮らせるように質の高い医療の提供を行っています。

また老人保健施設は平成7年に開設され、平成21年には全職員から名称を募集し、「老人保健施設 あんじゅ」と変更して地域の方々に親しんでいただいています。

「あんじゅ」では入所・短期入所・デイケアサービスを提供しています。介護の必要な高齢者に対し医学的管理の元で機能訓練、日常生活のお世話など実施し、高齢者の自立と在宅復帰を支援しています。また、病院や支援センターとの連携により、入所前・退所後においても安全で質の高いケアを受けることができます。

山口県赤十字血液センター



〒753-8534

山口県山口市野田 172-5

TEL. 083-922-6866 FAX. 083-922-7073

フリーダイヤル 0120-456-122

<http://www.yamaguchi.bc.jrc.or.jp/>

「血液製剤の安全性と安定供給」実現のために

山口県赤十字血液センター

山口県では、主要医療機関が県内各地に分散していることから、県央部と県北部は血液センター、県東部と県西部は県内4業者への業務委託による分室(営業所)が医療機関に血液をお届けしていました。

「血液製剤の安全性と安定供給」という安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律の理念の実現を更に目指すため、委託業者による分室からの供給という体制を見直し、血液センター直轄の供給出張所による供給体制を構築することとしました。この見直しの手始めに、下関市内の医療機関に供給を行ったため、平成25年6月に下関市に西部供給出張所を開所いたしました。

更に、平成26年には、岩国市から周南市までの県東部の医療機関に供給を行うため、周南市に東部供給出張所を設置、開所する予定としています。



日本赤十字社 山口県支部 〒753-0094 山口県山口市野田172-5 TEL.083-922-0102 <http://www.yamaguchi.jrc.or.jp/>